

第4章 出前講座実施校の全教員を対象としたアンケート調査の結果

1. アンケート調査概要

第1章で紹介した出前講座実施校の全教員を対象に、アンケート調査を実施した。出前講座の実施日前後に、実施校教員の協力により紙の調査票¹を配布し、回収いただいた。ここでは、4校の教員からの回答をまとめて、教員の意識等について、検証する。

回答者は4校合計で119名、性別では、女性39名(32.8%)、男性72名(60.5%)、担当教科別では、国語21名(17.6%)、社会13名(10.9%)、外国語26名(21.8%)、数学23名(19.3%)、理科17名(14.3%)、保健体育5名(4.2%)、芸術3名(2.5%)、家庭科、その他が各1名(0.8%)であった。性別と担当教科をクロス集計すると、理系教科(数学、理科)担当の女性が7名(5.9%)、男性が32名(26.9%)、文系教科(国語、社会、外国語)担当の女性が25名(21.0%)、男性が35名(29.4%)であった。

◆回答者の属性◆

■ 性別、担当教科(人、割合)

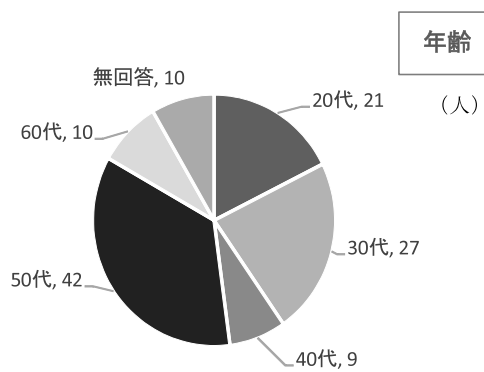
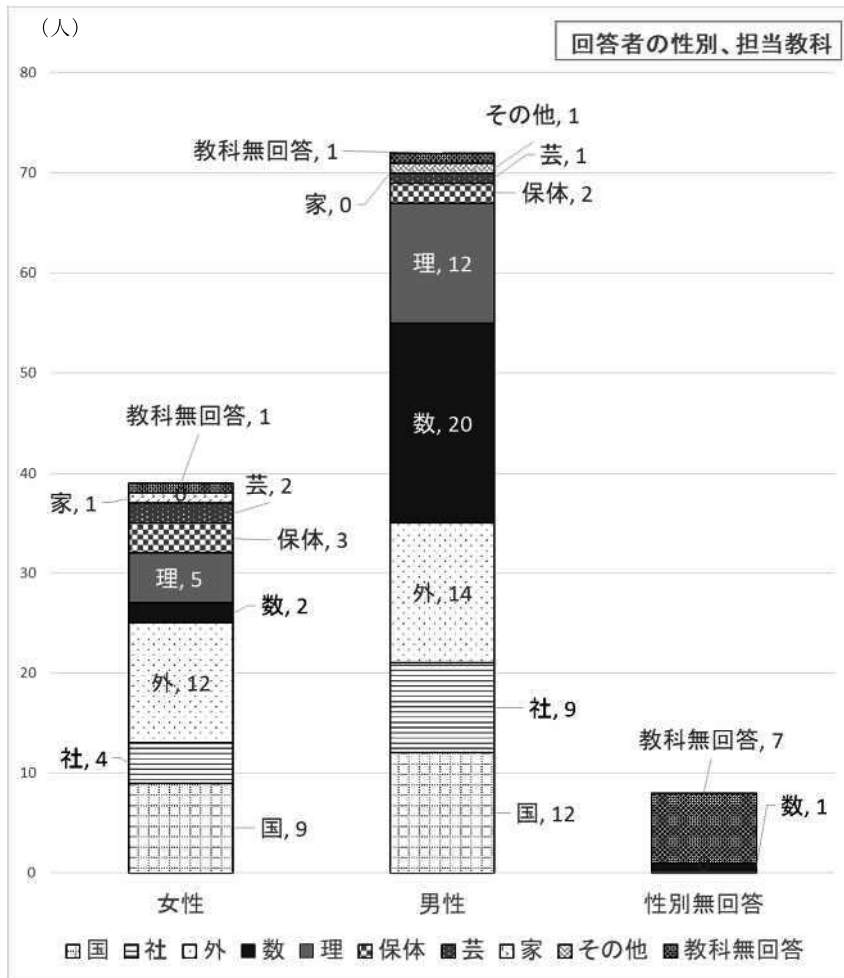
	担当教科										無回答	計
	文系			理系		その他						
	国語	社会	外国語	数学	理科	保健体育	芸術	家庭科	その他			
女性	9	4	12	2	5	3	2	1	0	1	39	
	25			7		6				0.8%	32.8%	
	21.0%			5.9%		5.0%						
男性	12	9	14	20	12	2	1	0	1	1	72	
	35			32		4				0.8%	60.5%	
	29.4%			26.9%		3.4%						
未記入	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	8	
	0			1		0				5.9%	6.7%	
	0.0%			0.8%		0.0%						
計	21	13	26	23	17	5	3	1	1	9	119	
	17.6%	10.9%	21.8%	19.3%	14.3%	4.2%	2.5%	0.8%	0.8%	7.6%	100.0%	

■ 年齢

	(人)	(割合)
20代	21	17.6%
30代	27	22.7%
40代	9	7.6%
50代	42	35.3%
60代	10	8.4%
無回答	10	8.4%
計	119	100.0%

年齢別では、50代が最も多く(35.3%)、30代(22.7%)、20代(17.6%)がこれに続いた。回答者のうち40代の占める割合は7.6%と、最も低かった。

¹ 教員を対象としたアンケート調査票については、資料V参照(pp.90-91)

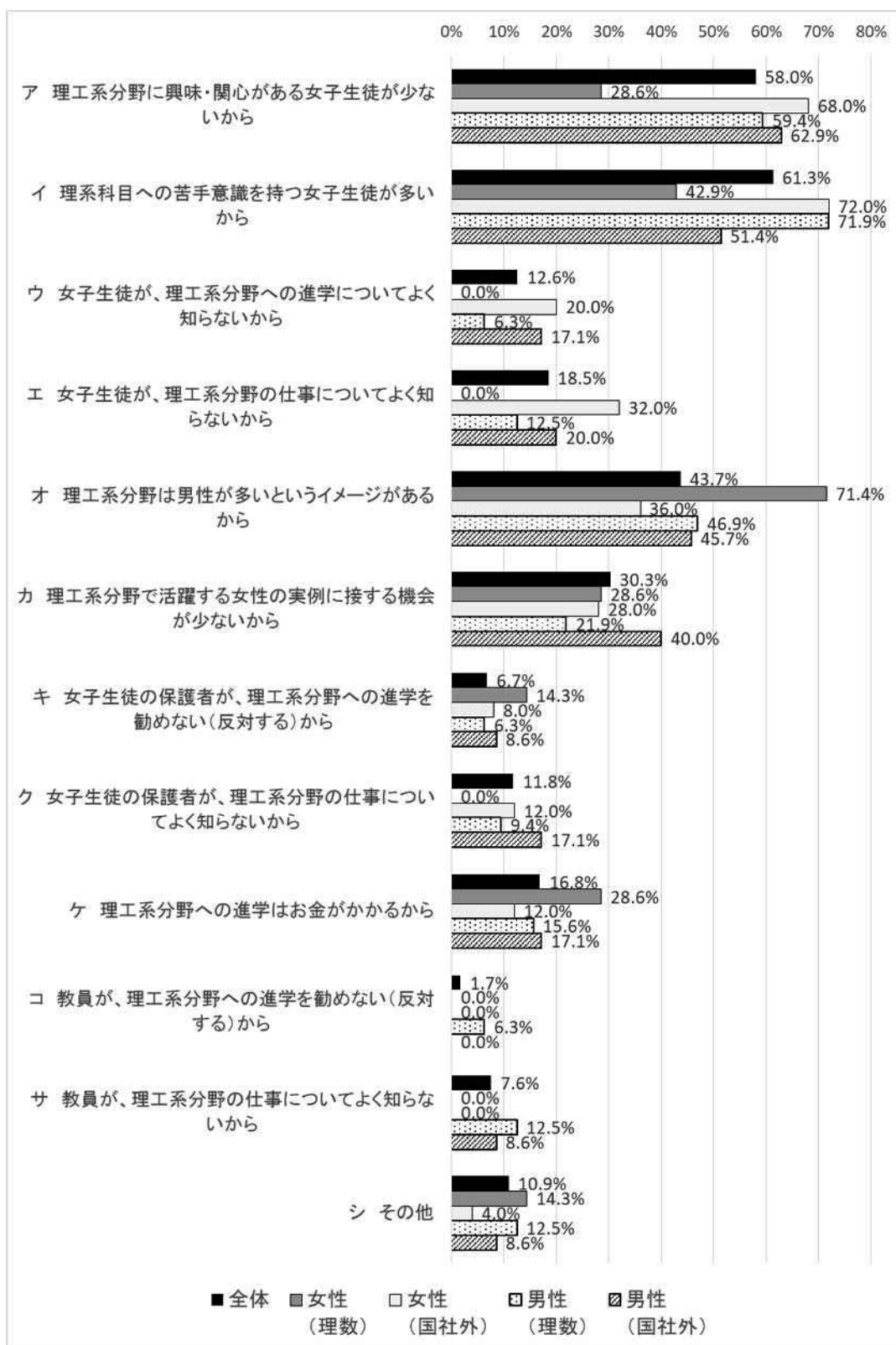


2. アンケート調査結果

(1) 設問1 理工系に進学・就職する女性が少ない理由

■設問1 日本では、理工系に進学・就職する女性が少ない現状があります。なぜだと思いますか。（複数選択可）

	全体		女性 (理数)		女性 (国社外)		男性 (理数)		男性 (国社外)	
母数 (人)	119		7		25		32		35	
ア 理工系分野に興味・関心がある女子生徒が少ないから	69	58.0%	2	28.6%	17	68.0%	19	59.4%	22	62.9%
イ 理系科目への苦手意識を持つ女子生徒が多いから	73	61.3%	3	42.9%	18	72.0%	23	71.9%	18	51.4%
ウ 女子生徒が、理工系分野への進学についてよく知らないから	15	12.6%	0	0.0%	5	20.0%	2	6.3%	6	17.1%
エ 女子生徒が、理工系分野の仕事についてよく知らないから	22	18.5%	0	0.0%	8	32.0%	4	12.5%	7	20.0%
オ 理工系分野は男性が多いというイメージがあるから	52	43.7%	5	71.4%	9	36.0%	15	46.9%	16	45.7%
カ 理工系分野で活躍する女性の実例に接する機会が少ないから	36	30.3%	2	28.6%	7	28.0%	7	21.9%	14	40.0%
キ 女子生徒の保護者が、理工系分野への進学を勧めない（反対する）から	8	6.7%	1	14.3%	2	8.0%	2	6.3%	3	8.6%
ク 女子生徒の保護者が、理工系分野の仕事についてよく知らないから	14	11.8%	0	0.0%	3	12.0%	3	9.4%	6	17.1%
ケ 理工系分野への進学はお金がかかるから	20	16.8%	2	28.6%	3	12.0%	5	15.6%	6	17.1%
コ 教員が、理工系分野への進学を勧めない（反対する）から	2	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.3%	0	0.0%
サ 教員が、理工系分野の仕事についてよく知らないから	9	7.6%	0	0.0%	0	0.0%	4	12.5%	3	8.6%
シ その他	13	10.9%	1	14.3%	1	4.0%	4	12.5%	3	8.6%



※母数は、全体 119 名、女性（理数）7 名、女性（国社外）25 名、男性（理数）32 名、男性（国社外）35 名で、百分率は、それぞれの集団において何割がその選択肢を選んだかを示す。

設問1のポイント

<回答者全体>

- 最も多かった回答は「イ 理系科目への苦手意識を持つ女子生徒が多いから」で、6割(61.3%)が選択した。これに「ア 理工系分野に興味・関心がある女子生徒が少ないから」(58.0%)、「オ 理工系分野は男性が多いというイメージがあるから」(43.7%)が続いた。
- 「キ 女子生徒の保護者が、理工系分野への進学を勧めない(反対する)から」、「コ 教員が、理工系分野への進学を勧めない(反対する)から」を選択した人は8人、2人といずれも少数であった。これらを選択した回答者からは、具体例(勧めない理由等)として、キ「反対しないまでもあえて勧めることは少ないと思う」、「無知と先入観、慣習等」、コ「数学や理科についていけないよ、などと言うから」といった意見があった。
- 13名が「シ その他」を選択し、次のような意見があった。「工業系は男性社会で女性が活躍できるイメージが少ない」、「継続性が必要な仕事が多く、結婚や出産を機に離職してしまうため、本気で取り組むことが難しい」、「男はこうあるべき、女はこうあるべきというジェンダーに社会全体がいまだにとらわれているから」、「女子は理数が苦手だと周りから刷り込まれる」、「男性社会のイメージが強いなかで働くという選択肢を持たないのではないか」、「どこの高校でも数学の教員は圧倒的に男性が多い」。

<女性(理数)>

- 最も多かった回答は「オ 理工系分野は男性が多いというイメージがあるから」で、7割(71.4%)が選択した。これに、「イ 理系科目への苦手意識を持つ女子生徒が多いから」(42.9%)が続いた。

<女性(国社外)>

- 約7割が、「イ 理系科目への苦手意識を持つ女子生徒が多いから」(72.0%)、「ア 理工系分野に興味・関心がある女子生徒が少ないから」(68.0%)を選択した。

<男性(理数)>

- 最も多かった回答は「イ 理系科目への苦手意識を持つ女子生徒が多いから」で、7割(71.9%)が選択した。これに、「ア 理工系分野に興味・関心がある女子生徒が少ないから」(59.4%)が続いた。

<男性(国社外)>

- 最も多かった回答は「ア 理工系分野に興味・関心がある女子生徒が少ないから」で、6割(62.9%)が選択した。これに、「イ 理系科目への苦手意識を持つ女子生徒が多いから」(51.4%)が続いた。

＜この設問からみられる傾向等＞

- （母数は少ないが、）女性（理数）は、やや他の回答と傾向が異なっている。
- 保護者や教員の影響は、あまりないと認識されている。

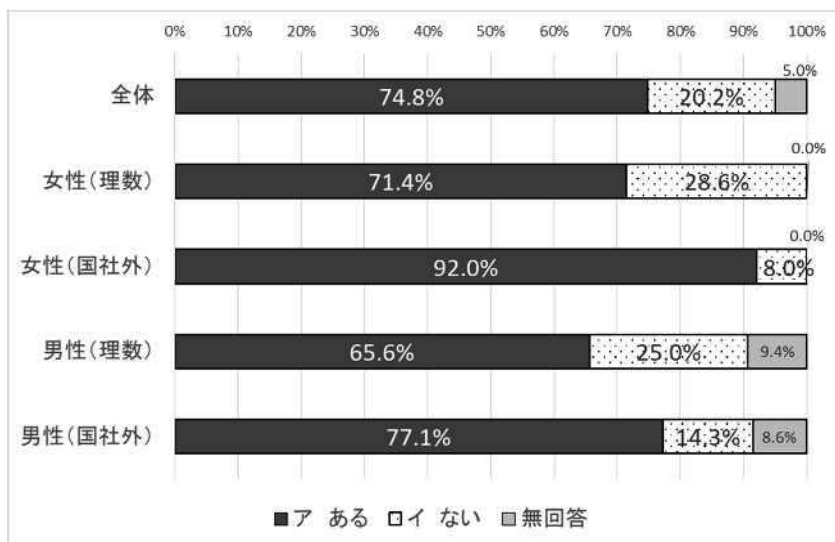
＜リケジョ・エンカレッジプログラムの進化のための考察＞

- 女子生徒に「理工系分野に興味・関心」を持ってもらうだけでなく、「理系科目への苦手意識」を払しょくすることが、リケジョ促進につながる可能性がある。
- 「理工系分野は男性が多いというイメージ」を払しょくすることが、リケジョ促進につながる可能性がある。

(2) 設問2 理系の進学・就職について、知識・情報不足を感じるか

■設問2 理系の進学・就職について、ご自身の知識・情報不足を感じることはありますか。

	ア ある	イ ない	無回答	計
全体	89 74.8%	24 20.2%	6 5.0%	119 100.0%
女性 (理数)	5 71.4%	2 28.6%	0 0.0%	7 100.0%
女性 (国社外)	23 92.0%	2 8.0%	0 0.0%	25 100.0%
男性 (理数)	21 65.6%	8 25.0%	3 9.4%	32 100.0%
男性 (国社外)	27 77.1%	5 14.3%	3 8.6%	35 100.0%



設問2のポイント

<回答者全体>

○74.8%が「ある」と回答した。

○自由記載欄に、次のような意見があった。「大学での学びが就職先でどのように生かされるのかが、明らかになっていないように感じます」、「文系の教員には理系の大学は表面的なことしかわかりません」、「理系に限らず、上記内容をすべて知りえているわけではありませんが、進路指導の際には個々に合わせた資料等で情報を得ています。学生生活（実態）まではわかりません」「文系も同様に知識不足を感じる」。

<性別・担当教科別>

○「ある」と回答した割合が最も多かったのは、女性（国社外）で、92.0%であった。最も少なかったのは、男性（理数）で、65.6%であった。

まとめ

<この設問からみられる傾向等>

○教員の7割強が、理系の進学・就職について、知識・情報不足を感じることもある。
○特に、文系科目を担当する女性教員の9割は、理系の進学・就職について、知識・情報不足を感じることもある。

<リケジョ・エンカレッジプログラムの進化のための考察>

○（設問1の結果によれば、女子生徒の進路選択において、教員から受ける影響は限定的であるととらえられているものの、）進路選択等について助言指導を行う立場にある教員が、理工系の進学・就職についての知識・情報を十分に持っていることが、間接的に、リケジョ促進につながる可能性がある。
○特に文系科目を担当する教員は、理工系についての知識・情報が不足しがちであるため、これを補うことが、間接的に、リケジョ促進につながる可能性がある。

■設問2 その2（知識・情報不足を感じることもあると答えた方のみ回答）

知識・情報が不足していると思うものに○（複数選択可）

全体

		大学 受験	研究 概要	学生 生活	卒業後の 就職
理工系の	理学の	25 28.1%	40 44.9%	26 29.2%	44 49.4%
	工学の	26 29.2%	43 48.3%	27 30.3%	38 42.7%
農・水産学の		29 32.6%	37 41.6%	29 32.6%	43 48.3%
医・歯学の		30 33.7%	29 32.6%	27 30.3%	16 18.0%
薬学の		23 25.8%	28 31.5%	23 25.8%	22 24.7%
看護・保健学の		26 29.2%	29 32.6%	22 24.7%	15 16.9%

女性（理数）

女性（国社外）

		大学 受験	研究 概要	学生 生活	卒業後 の就職	大学 受験	研究 概要	学生 生活	卒業後 の就職
理工系 の	理学の	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	9 39.1%	11 47.8%	9 39.1%	13 56.5%
	工学の	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	9 39.1%	11 47.8%	9 39.1%	11 47.8%
農・水産学の		1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	2 40.0%	7 30.4%	8 34.8%	9 39.1%	10 43.5%
医・歯学の		1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	7 30.4%	5 21.7%	7 30.4%	2 8.7%
薬学の		1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	6 26.1%	5 21.7%	6 26.1%	5 21.7%
看護・保健学 の		1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	7 30.4%	6 26.1%	6 26.1%	2 8.7%

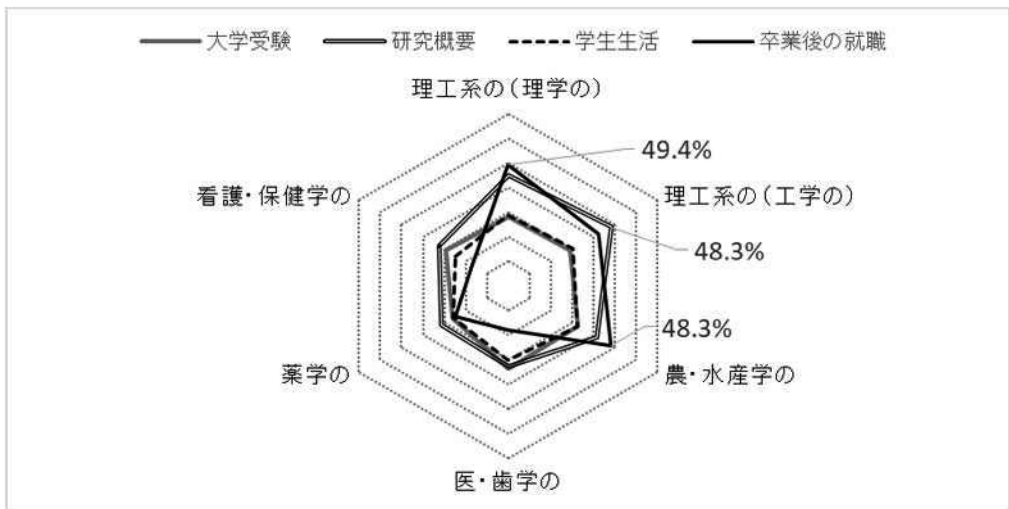
男性（理数）

男性（国社外）

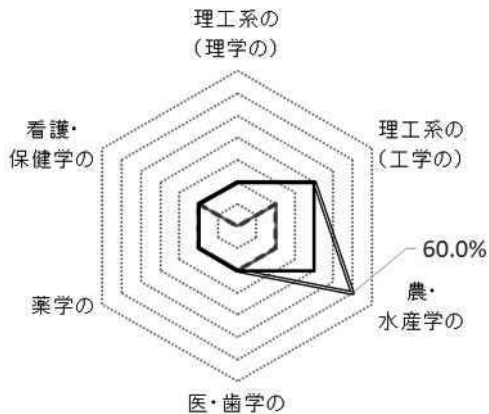
		大学 受験	研究 概要	学生 生活	卒業後 の就職	大学 受験	研究 概要	学生 生活	卒業後 の就職
理工系 の	理学の	2 9.5%	4 19.0%	2 9.5%	8 38.1%	8 29.6%	16 59.3%	11 40.7%	16 59.3%
	工学の	3 14.3%	6 28.6%	3 14.3%	6 28.6%	8 29.6%	17 63.0%	11 40.7%	14 51.9%
農・水産学の		6 28.6%	7 33.3%	5 23.8%	10 47.6%	8 29.6%	13 48.1%	10 37.0%	16 59.3%
医・歯学の		7 33.3%	8 38.1%	7 33.3%	4 19.0%	10 37.0%	12 44.4%	11 40.7%	8 29.6%
薬学の		4 19.0%	6 28.6%	4 19.0%	7 33.3%	9 33.3%	13 48.1%	11 40.7%	8 29.6%
看護・保健学 の		5 23.8%	8 38.1%	4 19.0%	4 19.0%	10 37.0%	11 40.7%	10 37.0%	7 25.9%

※母数は、全体89名、女性（理数）5名、女性（国社外）23名、男性（理数）21名、男性（国社外）27名で、百分率は、それぞれの集団において何割がその項目に○を付けたかを示す。

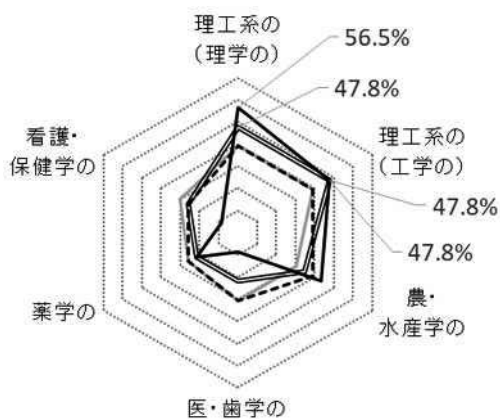
全体（知識・情報不足を感じることもあると回答した人、89名）



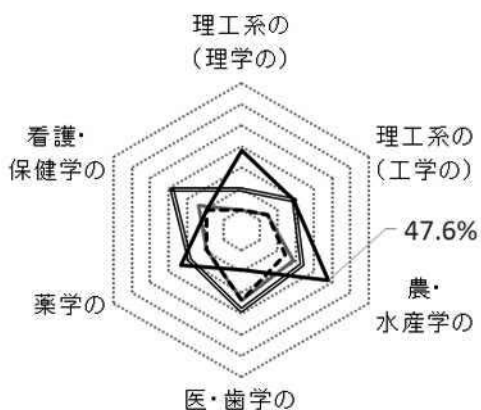
女性（理数）同5名



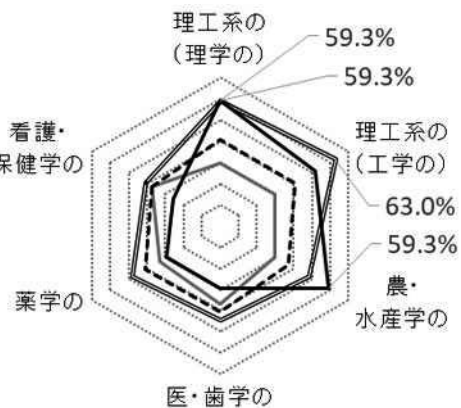
女性（国社外）同23名



男性（理数）同21名



男性（国社外）同27名



※母数は、全体89名、女性（理数）5名、女性（国社外）23名、男性（理数）21名、男性（国社外）27名で、百分率は、それぞれの集団において何割がその項目に○を付けたかを示す。

設問2（その2）のポイント

<回答者全体>

○最も多かった回答は、「理工系の（理学の）」-「卒業後の就職」で、49.4%が選択した。これに続き多かったのは、「農・水産学の」-「卒業後の就職」、「理工系の（工学の）」-「研究概要」で、それぞれ、48.3%が選択した。

<女性（理数）>

○最も多かった回答は「農・水産学の」-「研究概要」で、60.0%が選択した。

<女性（国社外）>

○最も多かった回答は、「理工系の（理学の）」-「卒業後の就職」で、56.5%が選択した。これに続き多かったのは、「理工系の（理学の）」-「研究概要」、「理工系の（工学の）」-「卒業後の就職」及び「研究概要」で、それぞれ、47.8%が選択した。

<男性（理数）>

○最も多かった回答は「農・水産学の」-「研究概要」で、47.6%が選択した。

<男性（国社外）>

○最も多かった回答は、「理工系の（工学の）」-「研究概要」で、63.0%が選択した。これに続き多かったのは、「理工系の（理学の）」-「卒業後の就職」及び「研究概要」、「農・水産学の」「卒業後の就職」で、それぞれ、59.3%が選択した。

まとめ

<この設問からみられる傾向等>

○理学、工学、農・水産学については、その他の理系（医・歯学、薬学、看護・保健学）に比べ、知識・情報が不足していると感じている教員が多く、特に、それらの学問に関する「卒業後の就職」や「研究概要」についての知識・情報が不足している。

○特に文系科目を担当する教員に、上記傾向がみられる。

<リケジョ・エンカレッジプログラムの進化のための考察>

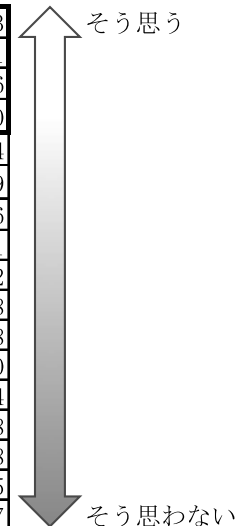
○教員に対して、理学、工学、農・水産学についての「卒業後の就職」や「研究概要」等の情報を提供することが、間接的に、リケジョ促進につながる可能性がある。

(3) 設問3 理工系についてのイメージ

■設問3 あなたは理工系についてどのようなイメージをお持ちですか。(各項目について、1 と思う、2 少し思う、3 あまり思わない、4 そう思わない、から選択)

全体

イ	専門性が高い	1.13
ア	おもしろい	1.61
カ	学費が高い	1.66
オ	大学での勉強(研究)が大変、難しい	1.80
ス	将来、やりがいのある仕事に就ける	2.04
ケ	大学院まで進学する必要がある	2.09
コ	就職に有利である	2.16
エ	大学受験が大変、難しい	2.21
タ	将来、資格が取得できる	2.22
セ	将来、安定した仕事に就ける	2.38
ソ	将来、高収入が望める	2.48
キ	男性に向いている	2.50
ウ	あまりなじみがなく、具体的なイメージがわからない	2.64
チ	将来、仕事と家庭生活の両立がしやすい	2.88
ク	女性に向いている	2.88
シ	将来の仕事の選択肢が狭まる	3.05
サ	結婚に有利である	3.27



女性
(理数)

イ	専門性が高い	1.00
ア	おもしろい	1.14
ケ	大学院まで進学する必要がある	1.57
コ	就職に有利である	1.71
ス	将来、やりがいのある仕事に就ける	1.71
セ	将来、安定した仕事に就ける	1.86
カ	学費が高い	2.00
タ	将来、資格が取得できる	2.00
チ	将来、仕事と家庭生活の両立がしやすい	2.14
オ	大学での勉強(研究)が大変、難しい	2.57
サ	結婚に有利である	2.57
ソ	将来、高収入が望める	2.57
エ	大学受験が大変、難しい	2.71
キ	男性に向いている	2.86
ウ	あまりなじみがなく、具体的なイメージがわからない	3.14
ク	女性に向いている	3.29
シ	将来の仕事の選択肢が狭まる	3.43

女性
(国社外)

イ	専門性が高い	1.04
カ	学費が高い	1.56
オ	大学での勉強(研究)が大変、難しい	1.60
ス	将来、やりがいのある仕事に就ける	1.83
エ	大学受験が大変、難しい	1.96
タ	将来、資格が取得できる	2.00
ア	おもしろい	2.04
ケ	大学院まで進学する必要がある	2.04
コ	就職に有利である	2.12
ウ	あまりなじみがなく、具体的なイメージがわからない	2.16
ソ	将来、高収入が望める	2.21
セ	将来、安定した仕事に就ける	2.25
キ	男性に向いている	2.48
ク	女性に向いている	2.76
チ	将来、仕事と家庭生活の両立がしやすい	2.78
シ	将来の仕事の選択肢が狭まる	2.96
サ	結婚に有利である	3.25

男性
(理数)

イ	専門性が高い	1.16
ア	おもしろい	1.25
カ	学費が高い	1.78
オ	大学での勉強(研究)が大変、難しい	2.13
ス	将来、やりがいのある仕事に就ける	2.16
ケ	大学院まで進学する必要がある	2.22
コ	就職に有利である	2.31
タ	将来、資格が取得できる	2.44
エ	大学受験が大変、難しい	2.48
キ	男性に向いている	2.50
セ	将来、安定した仕事に就ける	2.50
ソ	将来、高収入が望める	2.77
ク	女性に向いている	2.97
シ	将来の仕事の選択肢が狭まる	3.03
チ	将来、仕事と家庭生活の両立がしやすい	3.10
ウ	あまりなじみがなく、具体的なイメージがわからない	3.31
サ	結婚に有利である	3.35

男性
(国社外)

イ	専門性が高い	1.17
カ	学費が高い	1.40
オ	大学での勉強(研究)が大変、難しい	1.54
ア	おもしろい	1.71
ケ	大学院まで進学する必要がある	2.06
コ	就職に有利である	2.11
エ	大学受験が大変、難しい	2.17
ス	将来、やりがいのある仕事に就ける	2.20
ウ	あまりなじみがなく、具体的なイメージがわからない	2.29
タ	将来、資格が取得できる	2.29
セ	将来、安定した仕事に就ける	2.51
ソ	将来、高収入が望める	2.51
キ	男性に向いている	2.54
ク	女性に向いている	2.80
チ	将来、仕事と家庭生活の両立がしやすい	2.91
シ	将来の仕事の選択肢が狭まる	3.14
サ	結婚に有利である	3.37

※回答の平均値がもっとも低い(「1 と思う」に近い)回答から順に並べたもの。項目の色は、白が、どちらかといえば良いイメージ、黒が、どちらかといえば悪いイメージ、灰色が左記以外。

設問3のポイント

<回答者全体>

- 平均値が最も「1 そう思う」に近い項目は、良いイメージである「イ 専門性が高い」で、これに、「ア おもしろい」(良)、「カ 学費が高い」(悪)、「オ 大学での勉強(研究)が大変、難しい」(悪)が1点台で続いた。
- 最も「4 そう思わない」に近い項目は、良いイメージである「サ 結婚に有利である」で、これに、「シ 将来の仕事の選択肢が狭まる」(悪)が3点台で続いた。

<女性(理数)>

- 平均値が最も「1 そう思う」に近い項目は、「イ 専門性が高い」(良)で、これに、「ア おもしろい」、「ケ 大学院まで進学する必要がある」、「コ 就職に有利である」、「ス 将来、やりがいのある仕事に就ける」、「セ 将来、安定した仕事に就ける」(ケを除き、いずれも良)が1点台で続いた。

<女性(国社外)>

- 最も「1 そう思う」に近い項目は、「イ 専門性が高い」(良)で、これに、「カ 学費が高い」(悪)、「オ 大学での勉強(研究)が大変、難しい」(悪)、「ス 将来、やりがいのある仕事に就ける」(良)、「エ 大学受験が大変、難しい」(悪)が1点台で続いた。

<男性(理数)>

- 最も「1 そう思う」に近い項目は、「イ 専門性が高い」(良)で、これに、「ア おもしろい」(良)、「カ 学費が高い」(悪)が1点台で続いた。

<男性(国社外)>

- 最も「1 そう思う」に近い項目は、「イ 専門性が高い」(良)で、これに、「カ 学費が高い」(悪)、「オ 大学での勉強(研究)が大変、難しい」(悪)、「ア おもしろい」(良)が1点台で続いた。

まとめ

<この設問からみられる傾向等>

- 理系科目を担当する女性は、「そう思う」に近い1点台に、良いイメージの項目が多く、理工系に対して比較的良いイメージを持っているとみられる。

<リケジョ・エンカレッジプログラムの進化のための考察>

- 理系科目を担当する女性教員は、理工系に対して比較的良いイメージを持っているとみられ、女子生徒に良い影響を与える可能性がある。そこで、教育現場において、理系科目を担当する女性の教員を増やすことも、間接的に、リケジョ促進につながる可能性がある。

(4) 設問4 「かながわりケジョ・エンカレッジプログラム」に期待すること

■設問4 かなテラスでは、現役リケジョを学校に派遣し出前講座を行う「リケジョ・エンカレッジプログラム」を実施しています。このプログラムに期待すること、こんなことをやってほしい等、ご意見があればお書きください。

<意見抜粋>

●女性（理数）

- ・生徒本人が興味がないのに勧めることは避けたいですが、本人が理系の進路を希望するのに周囲の反対などで希望進路に進めないという場合に希望どおりになってほしいので、そのような経験のある方に、どのように周囲の反対をおさめたかというお話を伺いたいです。
- ・このプログラムにより生徒に将来活躍するリケジョ像を持ってもらい、リケジョは特別でないという意識を持ってもらいたい。

●女性（国社外）

- ・今回の講演会は文理問わず、進路に対する具体的なイメージを抱かせるよいきっかけになったと思います。講師の方の体験談はもちろんです、一般的に理系に進むとどのような勉強をするのか、どのような就職先に進む可能性があるのか、もう少し大きな枠組みのお話もあると全く理系に対する知識のない生徒の理解を深めることができるのではないかと感じました。
- ・理工系の研究職や技術職の方々の活躍は外からだ見えにくく、生徒も知る機会がないので「何をやっているか」「仕事内容がどんな形で社会の役に立っているのか」「どうしたらその職に就けるのか」を講演で紹介してほしいです。特殊な例より、生徒が身近な憧れを抱くような例がよいと思います。
- ・もっと低学年（幼・小学生）のころからの意識が大きいと思います。科学の楽しさを伝えてほしいです。
- ・生徒のみならず保護者も固定観念に縛られていることが多いので、保護者に対する説明会などでも利用できるようなコンパクトな冊子、資料があるとよい。
- ・共学の学校で「リケジョ」を前面に出した講座はやりにくいです。「なぜ男性優位になったのか」を解説していただき、そのうえで理工系に進むメリット・デメリットを話してほしいです。
- ・理系そのものに対する理解が増せばおのずと女子も増えると思います。ただ就職などで本人の努力にかかわらず男女差別があるのが現状なら、それも併せて伝えることも必要では？

●男性（理数）

- ・理工系の仕事のおもしろさを伝えてほしい。
- ・どんな仕事があるかの紹介、高校・大学での勉強がどう役に立つか。
- ・理系の魅力を語ってほしい（性別関係なく）。
- ・理工系の楽しさ、おもしろさを伝えるプログラム。男性的なイメージを変える取り組み。
- ・理系に進み学び身に付けたことがどう活かされて今につながっているのか、体験談やおもしろさを語っていただきたいと思います。
- ・高校生に話をするとしたら、「今何の研究をしているか」「どんな実績があるか」ではなく、「どういう高校生活を送り何をきっかけにこの道に進んだか」だと思います。話をする方がその学校の求めるテーマに沿った話をできるように事前の打ち合わせなどをしっかりと行うことが必要です。
- ・高校で数学や理科を学んでよかったことを伝えてほしい。
- ・1年生の早い時期にやっていただきたいです。7月末には選択科目の希望を出すため文理がある程度決まってしまうからです。
- ・潜在的理工系進学者を発掘するために、学生生活、仕事などを紹介するチャンスを増やす、よい取り組みだと思えます。積極的に利用できればと考えます。
- ・成功した人の話を聞くより、失敗した人の話を聞くこともよいと思う。成功した人の話は上から目線のところがある。

●男性（国社外）

- ・女性の進出が増えている職場についての話が聞けると女子生徒が進路を考える幅が広がると思われます。
- ・理系に進学・就職した女性の活躍する姿を多く紹介し、本校の女子生徒が将来の夢（特に理系進学希望者に対して）を具体的に描けるようにしていただきたいと思います。
- ・何かやりたいことが決まっていって理系に進んだ人の話を聞くのもとても有意義だが、最後まで悩み続けた人や文系から理転した人など悩んでいる生徒たちと同じ経験をされた方の話も聞くことができたらと思う。具体的に言えば「得意科目は文系だが将来の夢が理系」「理系が得意で理系に行きたいが、進路や転職は理系が関係ない」など幅広い生徒対応を実現したい。
- ・多くの生徒が自分の得意教科、不得意教科をもとに進路を決めているように思いますが。このプログラムを通じて、苦手だけどおもしろそうだから頑張って勉強しようと感じる生徒が増えてほしいです。
- ・女性でも理工系が好きな生徒もいて、進路を決めるのは本人なので、余計なことはすべきではない。少なくとも医学部で問題になっている受験差別のようなことをし

なければよい。

●その他

- ・大学や大学院での研究の流れ、イメージと違うところ（皆の理系のイメージと）、リケジョと言っても、かなり広いと思うので進学の際に興味があるものと近い分野を選ぶために今できることを知りたい。
- ・具体的な進路を決める年齢ではなく、小学生や小学校入学前の子供やその保護者に生活と直結している内容で。

(5) 設問5 自由意見

■設問5 その他、このテーマ全般等について、ご意見があればお書きください。

<意見抜粋>

●女性（理数）

・両立支援などは高校生には気になる話だとは思いますが、文理男女関係なく両立すべき支援されるべきと考えているので、リケジョの話とは別に男女の生徒に対し男性・女性の経験者の両立の話が聞きたいです。

●女性（国社外）

・「リケジョ」というくくり方はそろそろ時代に合っていないのではないのでしょうか？

・進路選択の際、生徒は大学での研究内容や将来就きたい職業よりも「今の自分」を基準に考える傾向が強いと感じます。理系科目に苦手意識があったり、試験の点数が低かったりするとそれだけで理系への進学を選択しから排除してしまうので、高校以前も含めた学校教育の中で数学嫌い・理科嫌いの子供をつくらない工夫が大切だと思います。

●男性（理数）

・理・工のイメージがまだまだ男性が多い。男性社会ということで、大学の生活環境や会社、社会で女性がどのように活躍されているか全体のイメージを変えていく必要があると思います。

・私は自分自身が理系だったので、理系の女性が特別な存在とは思いません。理系でも文系でも高校時代にたくさんの憧れを抱くような場面をたくさん用意してあげることが大切と考えます。そういう流れを作る場面の一つとして有効な企画と考えます。

・高校で理系、文系を分けることをなくすとよいと思う。どちらも必要な内容で社会に出た時に困る。

・メリットだけでなく、デメリットもちゃんと伝えてほしい。

・理系の仕事に就いているのは本当に理系の出身者ばかりでしょうか？理系を卒業しても理系と関係のない職業に就いている女性もいると思います。そのような方の話も参考になると思います。理系進学者の女性を増やしたいのか理系の仕事に就く女性を増やしたいのかどちらなのですか？

●男性（国社外）

・「リケジョ」というネーミング自体が軽々しくてかつ理系女子を特別視して可能性

を狭めているように思える。

- 理系に進学した女子生徒の就職状況などのデータを生徒に提示できればイメージしやすいと思います。
- 理系が伸びないと国がだめになるので頑張ってください。

●その他

- 世間を騒がせている医学部もそうだが、「男医」とは言わないが、「女医」という言葉が存在するように「リケジョ」という言葉があること自体おかしいことだと思う。特に現在は男・女だけでは区別できないから。
- 高校では1年の中旬ごろに2年の選択科目を決める（文系、理系の大まかな選択で、2年でとる科目によっては3年の選択も決まってしまう）ため、出前講座を行うなら、中学生までだと思います。小さいころに興味を持たせることが大切だと思います。
- そもそも男女で分けた思考がよくない。向き不向きは人それぞれ。プログラムを行う側がステレオタイプを持っているのでは？

「効果的なリケジョ・エンカレッジプログラムについて」に関するアンケート

日本では、女性の理工系（理学、工学等）への進学・就労、研究職や技術系への進学・就労（いわゆるリケジョ）の割合が少ない状況があります。そこで、かなテラスでは、これを促進・支援するために、県内中学校、高等学校等に現役リケジョを講師として派遣する出前講座を行っています。こうしたなか当アンケートは、日ごろ生徒にかかわる教員の皆様のご意見をお尋ねし、出前講座等のプログラムの参考とさせていただくものです。

1 日本では、理工系に進学・就職する女性が少ない現状があります。なぜだと思われますか。（複数選択可）

- ア 理工系分野に興味・関心がある女子生徒が少ないから
- イ 理系科目への苦手意識を持つ女子生徒が多いから
- ウ 女子生徒が、理工系分野への進学についてよく知らないから
- エ 女子生徒が、理工系分野の仕事についてよく知らないから
- オ 理工系分野は男性が多いというイメージがあるから
- カ 理工系分野で活躍する女性の実例に接する機会が少ないから
- キ 女子生徒の保護者が、理工系分野への進学を勧めない（反対する）から

→具体例（勧めない理由等）があれば教えてください

- ク 女子生徒の保護者が、理工系分野の仕事についてよく知らないから
- ケ 理工系分野への進学はお金がかかるから
- コ 教員が、理工系分野への進学を勧めない（反対する）から

→具体例（勧めない理由等）があれば教えてください

- サ 教員が、理工系分野の仕事についてよく知らないから
- シ その他

→具体例（勧めない理由等）があれば教えてください

2 理系の進学・就職について、ご自身の知識・情報不足を感じることはありますか。

ア ある

→知識・情報が不足していると思うものに○（複数選択可）

		大学受験	研究概要	学生生活	卒業後の就職
理工系の	理学の				
	工学の				
農・水産学の					
医・歯学の					
薬学の					
看護・保健学の					

具体的にどんな情報が不足しているか、知りたいことなどがあればお書きください。（上記に当てはまらないことでも可）

イ ない

3 あなたは理工系についてどのようなイメージをお持ちですか。

1 そう思う、2 少し思う、3 あまり思わない、4 そう思わない

ア おもしろい	1	2	3	4
イ 専門性が高い	1	2	3	4
ウ あまりなじみがなく、具体的なイメージがわからない	1	2	3	4
エ 大学受験が大変、難しい	1	2	3	4
オ 大学での勉強（研究）が大変、難しい	1	2	3	4
カ 学費が高い	1	2	3	4
キ 男性に向いている	1	2	3	4
ク 女性に向いている	1	2	3	4
ケ 大学院まで進学する必要がある	1	2	3	4
コ 就職に有利である	1	2	3	4
サ 結婚に有利である	1	2	3	4
シ 将来の仕事の選択肢が狭まる	1	2	3	4
ス 将来、やりがいのある仕事に就ける	1	2	3	4
セ 将来、安定した仕事に就ける	1	2	3	4
ソ 将来、高収入が望める	1	2	3	4
タ 将来、資格が取得できる	1	2	3	4
チ 将来、仕事と家庭生活の両立がしやすい	1	2	3	4
ツ その他				

()

4 かなテラスでは、現役リケジョを学校に派遣し出前講座を行う「リケジョ・エンカレッジプログラム」を実施しています。このプログラムに期待すること、こんなことをやってほしい等、ご意見があればお書きください。

5 その他、このテーマ全般等について、ご意見があればお書きください。

最後に、あなたの属性についてご回答ください。（あてはまるものに○）

・性別 ・担当教科 ・年齢
 (女性/男性) (国/社/数/理/外/保体/芸/家) (20代/30代/40代/50代/60代)

以上、お忙しいところご協力いただき、誠にありがとうございました。